

3-O (3部服従)

称号

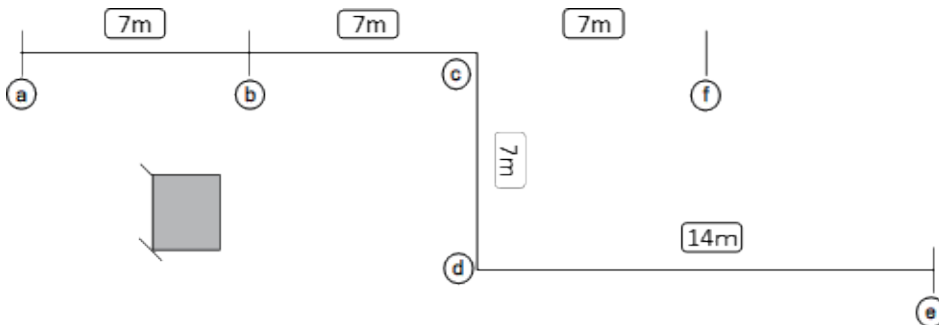
チャンピオングループ：得点57.0点以上、リザーブチャンピオン：得点56.9～54.0点

科目、配点 [60点満点]

科目1	紐無脚側行進	(10点)
科目2	常歩行進中の停座及び招呼	(10点)
科目3	常歩行進中の伏臥及び招呼	(10点)
科目4	常歩行進中の立止	(10点)
科目5	ダンベル持来 (指導手所有の100g以上)	(10点)
科目6	片道障害飛越 (高さ：体高の約1.2倍 最高70cm)	(10点)

実施要領

コース図



作業開始前に指定の場所で脚側停座させ（紐付きでもよい。）、審査員にゼッケン番号、犬名、指導手名を申告する。

科目1 紐無脚側行進

声視符 「アトへ」（出発、コーナー×4、折り返し、終点）、「スワレ」

①点で紐無し（紐は指導手の肩に掛ける。）で脚側停座させ、審査員の指示により常歩で進み、③点で右折した地点から緩歩で④点に進み左折した地点から常歩で⑤点まで進み反転し、止まることなく速歩で⑥点で右折、③点で左折し、①点に戻り反転した地点で脚側停座させる。

科目2 常歩行進中の停座及び招呼

声視符 直接脚側停座の場合「アトへ」、「スワレ」、「コイ」、「アトへ」、「スワレ」

対面停座の場合 「アトへ」、「スワレ」、「コイ」、「スワレ」、「アトへ」、「スワレ」

①点で脚側停座させ、審査員の指示により常歩脚側行進で進み、③点で指導手は歩度を変えずに犬に停座を命じ、振り返ることなく④点まで進み犬と対面する。審査員の指示により犬を招呼する。犬は直接脚側停座するか、対面停座をしてから審査員の指示により脚側停座させる。

科目3 常歩行進中の伏臥及び招呼

声視符 直接脚側停座の場合「アトへ」、「フセ」、「コイ」、「アトへ」、「スワレ」

対面停座の場合 「アトへ」、「フセ」、「コイ」、「スワレ」、「アトへ」、「スワレ」

①点で脚側停座させ、審査員の指示により常歩脚側行進で進み、③点で指導手は歩度を変えずに犬に伏臥を命じ、振り返ることなく④点まで進み犬と対面する。審査員の指示により犬を招呼する。犬は直接脚側停座するか、対面停座をしてから審査員の指示により脚側停座させる。

科目4 常歩行進中の立止

声視符 「アトへ」、「タッテ」、「スワレ」

①点で脚側停座させ、審査員の指示により常歩脚側行進で進み、③点で指導手は歩度を変えずに犬に立止を命じ、振り返ることなく④点まで進み犬と対面する。審査員の指示により指導手は常歩で犬の左側から後方を回り犬のもとへ戻り、審査員の指示により脚側停座させる。審査員の指示により①点に戻る。

科目5 ダンベル持来（指導手所有の100g以上）

声視符 直接脚側停座の場合 「マテ」、「モッテコイ」、「コイ」、「アトへ」、「スワレ」、「ダセ」
対面停座の場合 「マテ」、「モッテコイ」、「コイ」、「スワレ」、「ダセ」、「アトへ」、「スワレ」

指導手はダンベルを持ち@点で脚側停座させる。指導手は本科目終了までその場から移動してはならない。審査員の指示により犬に待てを命じ、ダンベルを7m以上投げる。ダンベルを投げるとき指導手は1歩踏み出してもよいが、速やかに元の姿勢に戻さなければならない。審査員の指示により持来させる。犬がダンベルを啜えたら犬を招呼し、直接脚側停座するか、対面停座をさせ審査員の指示によりダンベルを受け取る。対面停座をした場合は、審査員の指示により脚側停座させる。

科目6 片道障害飛越（高さ：体高の約1.2倍 最高70cm）

声視符 「トベ」、「マテ」、「スワレ」

障害から任意の位置で脚側停座させ、審査員の指示により指導手は位置を変えずに犬に飛越を命じ、飛越をしたら審査員の指示なく立止を命じる。審査員の指示により指導手は常歩で犬の右側へ行き、審査員の指示により脚側停座させる。審査員の指示により犬に紐を付け終了する。